

令和3(2021)年「正覚寺報」10月号

お知らせ

コロナワクチン摂取状況は、お彼岸中日現在総人口当り二回摂取率が55.8%になりました。二回摂取率60%の国の目標に近づいていることは有り難いことです。ワクチン接種が済んでも感染しない訳ではありませんが、発病の可能性が減少することは確かです。

八月の歓喜会、九月の彼岸会は、総代様方の申し入れを勸案しお勤めを御遠慮致しました。世の中の事業者の皆様は、何とか事業を営んで売上げを上げたい。しかし、会合で三密は避けたいとの思いで苦渋の決断をなさっています。

お寺のご法座は如来様のお慈悲に遇いお育てに与る大事の営みです。お聴聞の皆様方には誇りを以てお運び戴きます様お願い致します。

記

仏壮お聴聞の会(10月3日(日)20時～)

正覚寺仏婦例会(10月17日(日)19時半～)

16日は徳勝寺報恩講ですので仏婦例会は17日とします。

正覚寺報恩講(10月30日(土)14時大遠夜、初夜19時半、三十一日(日)十時満日中)

【親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年 慶讃法要】について

1. 滋賀組団体参拝の期日のご案内

滋賀組の本願寺御影堂への団体参拝は、滋賀組定期総会の資料で

- ・団体参拝人数が150名、
- ・期日は「令和五(2023)年4月12日午後2時より」と定まった旨、ご案内がありました。滋賀組17ヶ寺の平均では、8～9名になります。
- ・その他の詳細は、後日のご案内になります。

2. 慶讃法要のワッペンの配付

慶讃法要のスローガン「ご縁を慶び、お念仏とともに」のロゴマークをデザインしたワッ

ペンが法要に向け希望者に配付されます。「白、黒、赤、青、緑」の五色から希望の色を選択することになっています。

3. 慶讃法要記念 愛唱歌「みんな花になれ」のCDが本願寺出版社より発売されました。昨年歌詞の公募がなされ、1262篇もの作品が寄せられ、その中から選ばれたものです。1262という数字を拝見しますと、たまたまにせよ、親鸞聖人の御生涯を象徴するご縁を覚えられないではおれません。

なぜなら、私達布教使が、ご法座の始めにクイズまがいに親鸞聖人の御生涯をご案内する数字と見事に一致していたからです。

親鸞聖人が御誕生になったのは、1173(はじめはひとなみ)年でしたが、お隠れになったのは1262(一にも二にも無二の人)年とご案内する数字と一致していたからです。

尤も、先の七百五十回忌では新暦が採用され、お隠れになったのは1263年になりましたので、「63」は「むぞう」の人と読むことになるとご案内し、「無雑」とは「疑蓋無雑(ぎがいむぞう)」で、如来様から本願力回向して下さる信心を指しているとご案内して参りました。

如来様から回向して下さる信心は、私達衆生は決して疑いを差し挟まず、「さようございますか」とそのまま頂戴するとご案内してきたのです。

けれども、分かり易かった「1262」(一にも二にも無二の人)が使えなくなったことは残念だと思って居たのは、一人の布教使の思いだけではなかった筈です。それが、この度の慶讃法要の愛唱歌「みんな花になれ」の募集に際して寄せられた歌詞の総数1262となって蘇ったことは、まことに有り難いこととあります。ご一緒に歌わせて戴きましょう。合掌。